
 学 会 記 事

 第 11 回日本東洋医学会
 関東甲信越支部新潟県部会

日 時 平成 14 年 9 月 8 日 (日)
 午前 10 時～午後 4 時 10 分
 会 場 新潟市万代市民会館
 6 階多目的ホール

I. 一 般 講 演

1 茯苓飲合半夏厚朴湯の効いた一見疾患の違う
二症例

関原 芳夫

長岡赤十字病院脳神経外科

【緒言】西洋医学的には異なる症例に同じ処方
 で効果のあった 2 症例を経験したので報告する。

〔症例 1〕53 歳，女性．平成 13 年 3 月，椎骨動脈
 解離性動脈瘤にてコイル塞栓術を行い一命をくい
 止めた．しかし術後，様々のストレスから頭重，
 不眠，めまい，食欲低下，易疲労感，動悸などが続
 いた．抗不安薬，抗鬱薬，眠剤などを投与するも
 効果なし．舌診，腹診などを参考に茯苓飲合半夏
 厚朴湯を投与したところ，胃症状の消失と共に訴
 えも著明に軽減した．

〔症例 2〕74 歳，男性．平成 13 年 12 月下旬より
 頭重感，嘔気，ふらつきが出現．神経学的には複
 視，小脳失調が軽度認められ，椎骨脳底動脈循環
 不全と考えられた．輸液と共に抗血小板剤を投与
 したが，ふらつきが取れない．腹部症状の訴えか
 らヒントを得，舌証，腹証を参考に茯苓飲合半夏
 厚朴湯を投与した．再来時には全ての症状が消失
 した．

2 乳児期アトピー性皮膚炎に対する黄耆建中湯
の使用経験

橋本 謹也

こども医院はしもと

【緒言】最近食物アレルギーを基にもつ乳児期
 アトピー性皮膚炎を経験することが多い．今回，
 私は消化器機能を立て直すとされる小建中湯に，
 皮膚の水滯の正常化と排膿作用があるとされる黄
 耆が加わった黄耆建中湯を使い，湿潤な湿疹が主
 体で食物アレルギーの関与することが多い乳児期
 アトピー性皮膚炎への投与効果を検討した．

【対象】平成 13 年 1 月より平成 14 年 6 月まで
 に当院を受診し，黄耆建中湯を処方した 28 例
 (男児 17 名，女児 11 名)について検討した．

【結果】投与した 28 例中，効果あり 18 例，効果
 なし 4 例，悪化 2 例，判定不能 4 例であった．効
 果あり 18 例中 8 例はステロイド軟膏を使用しな
 いで改善し，使用例も割りと少量の使用で改善し
 た．又，皮疹の改善は湿潤やびらん面により顕著
 のように思えた．

【考察】黄耆建中湯は乳児期アトピー性皮膚炎
 に有用な処方と考えられた．(悪化入院例もあり
 含めて報告する．)

3 鍼通電治療，漢方薬の併用で改善をみた肩凝
り，円形脱毛症の一例

高畑與四夫

たかはた医院

症例は 40 歳，女性．身長 165.5cm，体重
 103.7Kg (+72.2%)

【主訴】両肩凝り，後頭痛，(脱毛症)

【現病歴】15 年前 (25 歳) より肩凝り，頭痛を
 自覚していたが時々マッサージを受ける程度あっ
 た．脱毛はこの頃より始まり皮膚科を何度か受診
 し治療を受けたが，効果はみられずあきらめ治療
 は受けなくなる．

この頃より体重増加となり，最高 120Kg にな
 った．平成 12 年 10 月出産した．子供を背負うも
 10 分もすると肩凝りが悪化して，姉の勧めで当院
 を受診した．